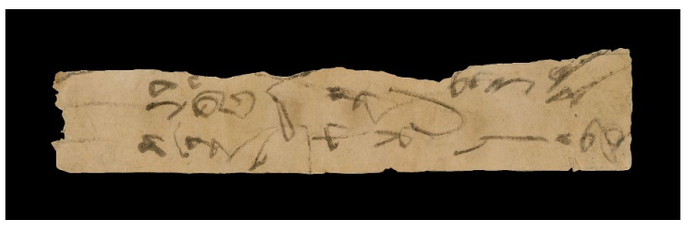
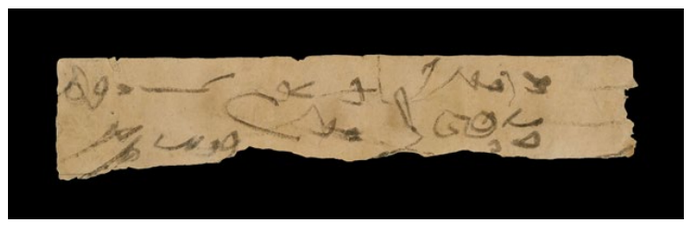
特別展「シルクロードの商人（あきんど）語り―サマルカンドの遺跡とユーラシア交流ー」正誤表

図録（初版）に以下の誤りがありました。お詫びして訂正します。

		【誤】	【正】
36頁	右段　「木彫板に描かれた女神ナナ」 下から2行目の本文	～大火災を免れ、生き残った希少な遺物であり、	～大火災を免れ、残存した希少な遺物であり、
42頁-44頁 211頁-212頁	図版1-12～1-24、1-27～29、1-31～33 封泥　年代情報	7～8世紀	6～8世紀初頭
44頁 212頁	図版1-25、1-26、1-30　封泥　年代情報	7～8世紀	5～8世紀初頭
61頁 211頁	図版1-58、1-59　ガラス片（脚付き杯）年代情報	7～8世紀	8～9 世紀
70頁	図版1-62、四葉座内行花文鏡	～新疆ウイグル地域で製作された可能性が高い。	～新疆ウイグル地域で製作された可能性もある。
71頁 212頁	図版1-64　把手付き壺　年代情報	7～8世紀	5～8世紀初頭
95頁	図版2-30　対雉文緯錦	ついきじもんよこにしき	ついじもんよこにしき
98頁	図版2-31　大谷探検隊将来　トルファン出土 ソグド文字のアルファベット　資料写真		 ※図版の上下が逆になります。
127頁	図版3-3　ウマ用鞍一式　資料写真 ※馬具（おもがい）		 ※ウマの額にかける部分と顎の下にくる部分の位置に誤りがあったため修正
130頁	図版3-17　ラクダ用飾り布　標本番号	H016844	H0168442
131頁	図版3-19　ラクダ用鼻木一式（左） 資料写真		 ※おもに、鼻木はラクダの体の右側から挿しているため修正
155頁 218頁	図版3-46　タンブール　年代情報	2014年製作	2012年製作
158頁	解説文　左段　最下行	～今日の中央アジアでは長楽器が	～今日の中央アジアでは長棹弦楽器（ちょうとう）が
187頁	図版4-26　水差し	村にくらすタジク女性たちが1950年代頃につくって使っていた素焼きの水差し。これは1983年に65歳だった女性から買ったもの。	素焼きの水差しは、村にくらすタジク女性たちが1950年代によくつくって使っていた。1980年代にはあまりつくられなくなっていたが、これは1983年に65歳だった女性から買ったもの。
188頁 220頁	図版4-28　制作者名 飾り皿　H0277513　制作者名	カミロフ・イブラギム	カミロフ・イブラヒム
190頁	解説文タイトル	日用陶器	観光客向け陶器
223頁	図録制作協力者一覧［写真撮影・提供］		帝京大学文化財研究所 ※追記